

香川大学 ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト

香川大学ダイバーシティ推進室は、讃岐が生んだ日本初の女性博士「保井コノ」を紹介する香川大学博物館と連携し、中高生とその保護者を対象に、2つのサマースクールを開催します。女性研究者、技術者等と直接リアルな話を聞くことができるチャンスもあります。みなさまのご参加をお待ちしています。

サマースクール 2023

Part1

なぜその道を選んだか？ —理系進路選択と スマホ顕微鏡づくり



前半は、ご自身のスマートフォンやタブレット端末を用いて顕微鏡を作成し、実際に植物や生物を観察します。後半は、吉澤先生の理系キャリアのお話と質疑応答を予定しています。香川大学博物館企画展「保井コノ展」は、サマースクールの前後で自由にご覧いただけます。



内閣府「理工チャレンジ」
イメージキャラクター

日時 2023年7月22日(土) 13:30~15:30

場所 香川大学教養教育物理学実験室
(高松市幸町1-1 幸町北1号館2階)

対象 香川県内の中高生+保護者

定員 15組(最大30名、7/17までに事前申込、
多数応募の場合は抽選とさせていただきます)

参加費 無料

持ち物 スマートフォンかタブレット端末

申込方法 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/T7xB4EkGaH>



※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺のコインパーキングをご利用下さい。



プログラム

13:00~13:30

受付及び本学博物館企画展「保井コノ展」見学(各自)

13:30~15:00

スマホ顕微鏡づくり

(スマートフォンかタブレット端末(iPad推奨)持参のこと)

15:00~15:30

キャリアトーク「なぜその道を選んだか？」
+質疑応答

※終了後、アンケート記入にご協力いただきます。



講師

吉澤樹理先生(香川大学教育学部 准教授)

プロフィール

博士号(農学)を取得後、杉並区立科学館、板橋区立教育科学館、立教大学、関西福祉大学を経て、2022年より現職。著書に『身近なアリけんさくブック』(仮説社、2019)。国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター。



香川大学博物館 開館15周年記念 第26回企画展

保井コノ — 讃岐が生んだ日本初の女性博士 —

詳しくは裏面をご覧ください▶

Part2

ワークショップ

～日本初の縦型乾式メタン発酵施設の意義

綾川町にある株式会社富士クリーンの日本初の縦型乾式メタン発酵施設の見学と同社の女性技術者他とワークショップを行います。また、女性技術者から進路選択や仕事の魅力などを聞き、質疑応答の時間も設けています。



日時 2023年8月26日(土) 10:00～12:00

場所 株式会社富士クリーン 乾式メタン発酵施設
(綾歌郡綾川町西分字山ノ上2816)
※駐車場あります。 ※現地集合、現地解散

対象 香川県内の中高生+保護者

定員 15組(最大30名、8/7までに事前申込、多数応募の場合は抽選とさせていただきます)

参加費 無料

講師 株式会社富士クリーン 女性技術者他

申込方法 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.office.com/r/cQmyNCAjfp>

※中讀に警報発令時は中止



プログラム

9:30

受付開始

10:00～10:30

施設見学

10:30～11:30

ワークショップ

(エネルギー×サイエンス 保井コノに関連して)

11:30～12:00

女性技術者の話+質疑応答

※終了後、アンケート記入にご協力いただきます。

香川大学博物館 開館15周年記念 第26回企画展

保井コノ — 讃岐が生んだ日本初の女性博士 —



期間 2023年7月21日(金)～11月18日(土)

時間 10:00～16:00

休館日 日・月曜日、祝日、8月11日(金・祝)～8月18日(金)

※10/8(日)、10/29(日)、11/3(金・文化の日)は特別開館

香川大学博物館展示室

入館
無料

主催: 香川大学博物館

後援: 東かがわ市、香川県教育委員会、東かがわ市教育委員会、高松市教育委員会

協力: お茶の水女子大学歴史資料館、東京大学総合研究博物館、(独)国立科学博物館、
雨滝自然科学館、多田 昭、田山泰三

協賛: 株式会社富士クリーン、四国放送株式会社

展示内容・関連イベントは、香川大学博物館HPで!



プロフィール

保井コノ(1880-1971)は、現在の香川県東かがわ市三本松で生まれ育ち、香川県立尋常師範学校(香川大学教育学部的前身校)で学び、1898(明治31)年に卒業後、女子高等師範学校(現お茶の水女子大学)に進学しました。1906(明治39)年に日本初の女性科学者の科学論文を『動物学雑誌』に、1911(明治44)年に日本女性として最初の科学論文を外国雑誌に発表しました。1914～1916年にアメリカに留学し、シカゴ大学とハーバード大学で学びました。石炭の成因を研究し『日本産石炭の植物学的研究』としてまとめ、1927(昭和2)年に東京帝国大学理学部に学位請求し、日本における女性博士第一号になりました。保井コノ氏の生涯と研究に取り組んだ姿勢について、標本資料等を通して紹介します。